

自立促進セミナーの概要をご紹介します。

実施日：第一回 2月10日（水）10時から12時 場所：石巻市メディアテック株式会社セミナールーム
第二回 3月22日（火）13時30分から15時30分 場所：同上

○在宅就業支援事業終了後の現状

- ・就業訓練が修了（150人）した後、7割程度はなんらかの形で就職（パート、在宅就業含む）
- ・石巻ICT協同組合で15名を採用している。内、6名は、支援センターにて仕事を行っている。

○ワーカーの声（セミナー参加者の声）

- ・今の仕事は時間帯に融通が利くし、自分にあった仕事ができる。組合の企業には大変感謝している。
- ・一般企業だと仕事の開始や終業時間が決まって通っての仕事は難しいが、勤務時間帯を融通していただき大変助かっている。（在宅でない場合も）
- ・初期の段階は入力作業であったが、技術が上達してwebデザインなどの仕事もできるようになった。さらにスキルアップできる研修があればよい。
- ・ただ、ただ仕事はWebデザインぐらいまでで、CADなど高度な仕事までは考えていない人もいる。データ入力だけの十分という人もいる。
- ・在宅支援事業（訓練）の話聞くまで在宅就業という形態を知らなかった。まだまだ自分が知っている人でもやりたいという人もおり、広報が必要と思われる。
- ・私たちで集まって、コミュニティをつくり、情報誌（月1回のタウン情報誌「ございん石巻」）に載せたり、いろんな活動をしたい。

○企業の声（セミナー参加者）

- ・在宅就業という形態をよく理解していなかった。今後、我が社でも仕事の形態として取り入れたい。
- ・企業としても、在宅でできる人たちを確保しておけば、仕事が増えたときなどに融通が利く。

皆さんの意見や要望をまとめると次のような課題が浮き彫りになりました。

- 現状は、民間で受けた仕事を就業支援に充てているが安定的ではない。
- データ入力以外では、WEB系の仕事（WEBデザイン、資料作成、ネット配信、アクセス分析）などが在宅向き。石巻の場合、WEB系のワーカーの養成に成功しており、この分野の仕事を増やしたい。
- 仕事をする上で必要なスキルが必要で、さらにスキルアップができる訓練システムが必要。
- フルタイムでは働けないので、柔軟な勤務時間にできるよう企業側に対応して欲しい。
- ひとり親家庭のコミュニティを作り、定期的な集まりや、情報発信をしていきたい。

これからも、セミナーでの貴重な意見を取り入れ、ひとり親家庭の在宅就業の意義や効果などを訴え、今後の展開につなげていきたいと考えています。